

ICT 化等機械装置等導入事業及び酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組に係る加点の考え方及び回答根拠を示す添付資料の例

区分	項目	加点の考え方及び添付資料の例
1 後継者	<p>① 今後とも安定的な経営継続が見込まれる経営として（１）又は（２）に該当する経営</p> <p>（１）主たる経営者が45歳未満</p> <p>（２）主たる経営者が45歳以上の場合、後継者となる子息・子女又は概ね15歳以上の後継者の確保</p>	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の（１）：経営者の氏名と年齢が確認できる書類を提出すること。</li> <li>・左記の（２）：経営者の氏名と年齢、後継者の続柄と年齢が確認でき、かつ、子息・子女の後継者の意向のわかる書類を提出すること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢がわかる書類のコピー</li> <li>・後継者がいるということを第三者（楽酪応援会議や支援組織など）が証明した書類</li> <li>・「家族経営協定」（写）</li> <li>・「農業経営改善計画認定申請書」（写）</li> <li>・「畜産経営診断結果」のうち労働力の構成がわかる部分のコピー</li> <li>・酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事や経営コンクールの事例紹介資料等のうち、出典、氏名・年齢が明確なもの</li> </ul>
	<p>② ①に該当しない場合、後継者の確保に向けた取組の実施</p>	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記①を提出できない経営は、次の書類を提出すること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者の確保に向けた取組内容を第三者（楽酪応援会議や支援組織など）が証明した書類</li> <li>・法人経営の場合は、法人化していることを示す書類（定款の写し等）</li> </ul>
2 乳用後継牛	<p>① 自家の牛群更新に必要な乳用牛を概ね自家生産により確保する経営</p>	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経産牛（又は育成牛）の自家産割合が8割であることを示す書類を提出すること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経産牛（又は育成牛）頭数と自家産割合を第三者（楽酪応援会議や支援組織など）が証明した書類（年間集計値でも、最近の時点頭数でもどちらでも可）</li> <li>・既存のデータ等から経産牛（又は育成牛）の個体のわかる部分をコピーし、自家産牛に○を付すとともに、表とともに提出（畜産経営診断結果、経産牛台帳、牛群検定成績表（乳検成績表・年間子牛生産状況）など）</li> <li>・酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事や経営コンクールの事例紹介資料等のうち、自家産による後継牛の概ねの確保が明確なもの</li> </ul>
	<p>② ①以外の場合、自家の牛群更新に必要な乳用牛の自家生産に取り組む経営</p>	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記①に該当しないが、後継牛の自家産に取り組む経営であることを示す書類提出すること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経産牛頭数及び自家産割合が増加していることわかる年次別推移表（過去3年分）</li> <li>・育成牛頭数及び自家保留頭数が増加していることわかる年次別推移表（過去3年分）</li> </ul>
3 生産性向上	<p>① 増頭、飼養管理の高度化等により、生乳生産量の1割以上の増加に取り組む経営</p>	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の両方の資料を提出し、生乳生産量が1割増加していることが明らかなこと。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家から直接あるいは間接的に対象事業者等と締結した生乳受乳販売契約等の生産委託計画の写し（2年間分）（「生乳見込生産総数量」の分かるもの）</li> <li>・直近2年間の生乳販売実績がわかる資料（指定事業者等の販売数量等の写しなど）</li> </ul>
	<p>② ①以外の場合、生乳生産量の増加に取り組む経営</p>	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記①に該当しない場合にあっても、以下の両方の書類の提出すること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家から直接あるいは間接的に対象事業者等と締結した生乳受乳販売契約等の生産委託計画の写し（2年間分）（「生乳見込生産総数量」の分かるもの）</li> <li>・直近2年間の生乳販売実績がわかる資料（指定事業者等の販売数量等の写しなど）</li> </ul>

区分	項目	添付する資料の例
4 その他	① 地震・台風等の災害等に備えた、地域における互助協定に参加する経営	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で左記の互助協定を締結し、参加している経営であること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害互助協定書」(写) 及び参加していることを示す資料</li> </ul>
	② 酪農従事者の疾病時等の経営継続に備えた、地域における互助協定に参加する経営	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働負担軽減経営体の具体的な扶助の役割(労役提供の内容等)が明確な互助協定を締結し、参加している経営であること。</li> <li>※酪農ヘルパー制度への加入(疾病時の特約も含む)では認められません。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の酪農家が相互で締結している「疾病時等の互助協定書」(写) 及び参加していることを示す資料</li> </ul>
	③ 地震・台風等により被災した経営	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去3年間以降に被災した経営であること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「罹災証明書」(写) 及び被災した時に撮影した畜産施設等の写真</li> </ul>
	④ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業による補助を受けていない経営	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産収益力強化緊急支援事業を含む)により施設整備や機械装置の導入に取り組んでいない経営であること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <p>(不要)</p> <p>※添付資料は不要ですが、地域のクラスター協議会や支援機関に確認の上、正確に回答して下さい。</p>
	⑤ 牛群検定に加入している経営	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛群検定(乳牛検定)に加入している経営であること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「牛群検定成績表(乳検成績表)」の検定成績集計表(写)</li> <li>※経営所在地、経営者名または法人名が記載されているページ</li> </ul>
	⑥ 供用期間の延長等を図るため、自給飼料の飼料分析や技術者との意見交換を定期的に行う経営	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の取り組みを行い、以下の書類を提出すること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自給飼料の分析結果</li> <li>・地域の支援組織や団体等が開催する自給飼料に関する勉強会の資料及び出席者名簿</li> </ul>
	⑦ 応援会議の構成員の中で、JGAP 家畜・畜産物の認証農場又は、GAP 取得チャレンジシステムの確認済み農場がある場合	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産 ICT/楽酪応援計画に記載された構成員のうち、いずれか1人が「家畜・畜産物の認証農場」又は「GAP 取得チャレンジシステムの確認済み農場」であること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JGAP 認証書(写)</li> <li>・GAP 取得チャレンジシステムの取組農場一覧リストを出力した結果(中央畜産会 HP の GAP 取得チャレンジシステムページ「取組農場一覧」を出力したものに、ラインマーカーして下さい <a href="http://www1.jlia-gap.jp/gap/portal.html">http://www1.jlia-gap.jp/gap/portal.html</a>)</li> </ul>
	⑧ 応援会議の構成員の中で、農場 HACCP 推進農場として指定される経営がある場合	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産 ICT/楽酪応援計画に記載された構成員のうち、いずれか1人が「農場 HACCP 認定農場」であるか、又は「農場 HACCP 推進農場」に指定されていること。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農場 HACCP 認定証(写)</li> <li>・農場 HACCP 推進農場指定書(写)</li> </ul>
	⑨ 作業安全に関する取組を実施している経営がある場合	<p>【加点の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「農作業安全シート」を提出することで加算可能。</li> </ul> <p>【添付する資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の URL よりダウンロードしてください(農水省 HP にリンク)</li> </ul> <p><a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/pdf/check_sheet.pdf">https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/pdf/check_sheet.pdf</a></p>

区分	項目	添付する資料の例
	⑩ その他、地域への 貢献度が高い取組 と事業実施主体が 特に認めた取組に 参加する経営	<b>【加点の考え方】</b> ・中央の畜産関係団体が主催する経営コンクール等で受賞した経営であれば加点可能。 <b>【添付する資料の例】</b> ・経営コンクール等の名称及び受賞内容がわかる資料 ・表彰状の写真